

後藤環爾 ごとう かねる 西本願寺派僧侶。明治四年壬辰國生れ、昭和十一年歿（一八七一—一九三六）。明治二十一年佛敎大學卒。先愛社に入り青年指導事業に従事。西幡女學院を創設して院長となる。二十六年本山敎學所勤務、布教監督等を経り、四十四年清國開教總監。のち西本願寺派最高位の執行長に就任。

『後藤環爾師道想録』（後藤環爾師道想録刊行會編、昭和十五年八月）
二十二年後藤環爾師表彰記念會）刊。

